

2017 中国シクロクロス UCI レース・遠征ご報告

先日 9 月 1 日から日本を出発し、中国・北京でレース参戦しておりました Ready Go JAPAN 女子シクロクロスチームの須藤むつみ選手が「中国シクロクロス UCI レース遠征」の予定スケジュールを終えて 9 月 7 日に無事、日本帰国しましたので、ご報告申し上げます。

*2017 Qiansen Trophy Cyclo-cross 遠征概要

Yanqing and Fengtai , Beijing, CHINA

遠征期間 : 2017-9-1(金) ~2017-9-7(木)

今回、中国 CX 参戦した日本チームメンバーは以下のとおりです。(敬称略)

【メンバー】

〈Men Elite〉

小坂 光 (宇都宮ブリッツエンシクロクロスチーム) ※キャプテン

織田 聖 (弱虫ペダルサイクリングチーム)

小坂 正則 (スワコレーシングチーム)

竹之内 悠 (Team Toyo Frame)

重田 兼吾 (Team CUORE)

斎藤 朋寛 (RIDELIFE GIANT)

中里 仁 (Speedvagen Family Racing)

向山 浩司 (SNEL CYCLOCROSS TEAM)

〈Women Elite〉

唐見 実世子 (弱虫ペダルサイクリングチーム)

福本 千佳 (Live GARDEN Bici Stelle)

須藤 むつみ (Ready Go JAPAN)

〈Staff〉

佐藤 成彦 (弱虫ペダル サイクリングチーム)

池本 秀紀 (宇都宮ブリッツエン シクロクロスチーム)

鬼頭 拓也 (Team Toyo Frame)

高木 政佳 (Team CUORE)

諏訪 孝浩 (SNEL CYCLOCROSS TEAM) ※総監督

〈Media〉

阿部 昌一 (こちらの報告書に掲載している写真も、すべて阿部氏に撮影いただいたものです)

【レース日程】

第 1 レース : 9 月 3 日 (日)

2017 Qiansen Trophy Cyclo-cross : Changxindian Station/UCI Class-1

場所： which is located in Fengtai District, Beijing, China.

第2レース：9月6日（水）

2017 Qiansen Trophy Cyclo-cross : Yanqing Station/UCI Class-1

場所： Yanqing venue is located in Yanqing County, Beijing,China.



大変に遅くなりましたが、この度の「2017 中国シクロクロス (CX) UCI レース遠征」から無事帰国をすることができました。今回は主催者より「UCI シクロクロスレースポイント獲得選手のうち、ランキングの TOP100 までを上から招待する」というアナウンスがあったため、2016-2017 シーズンで UCI レースに参戦数が少なく獲得ポイントも少なかった私は落選濃厚でありました。

しかし、第3次の募集アナウンスでワイルドカード枠が発生し、UCI ポイントの少ない私に参戦のチャンスが巡ってきました。実は春先から 2017 シーズンより弊 Ready Go JAPAN チームが「女子シクロクロスチーム」として活動を大きく方針転換したこともあり、オフロードを中心とした走行スキルを高めるトレーニングにシフトし、目標の1つとして「中国 UCI レース」があったため、落選の報を聞いた当初も最後の一縷の望みをかけて、シクロクロスのトレーニングは続けておりました。そのため今回の遠征の参戦が決定したことは予想外というよりも、準備を重ねてよかった！という安堵が先でありました。

中国現地に到着してからは、同行する選手・スタッフには初回 2013 年の中国遠征から参戦しているメンバーも多く非常に心強かったです。更に、私自身がおかげさまで 3 回目の中国 CX レース遠征ということもあり、ある程度は勝手が分かるのでレースに集中して臨める環境にありました。レース運営側では主

催者は勿論のこと、主催者のお父様やレース総務担当、計測班のスタッフ、そして各国から参戦にきた選手やスタッフ、宿泊ホテルのスタッフにも知った顔が増えて有難かったです。

レース自体は年々レベルアップを感じておりましたが、特に今年については格段にレベルが高かったように思います。2レースともに前年と同じ会場、ほぼ同じコースレイアウトであったにも関わらず、昨年以上のラップタイムで走行しても、女子 UCI ポイント獲得の 15 位以内どころか、何とか昨年まで入っていた賞金獲得の 20 位以内にも残れない非常に厳しいものでした。

第 1 レースの Changxindian Station は当日、レース直前の試走で落車をしてしまい負傷をしましたが、顔見知りの地元スタッフに救護を教えてもらい、すぐに処置をしてもらいレースには無事スタート、レース中もメカトラブルがありました数回、ピットでバイクチェンジをしながら日本チームスタッフに素早く修理をしてもらい難を逃れることが出来ました。このレースでは 35 人中・26 位で完走しました。

第 2 レースの Yanqing Station は、レース前に日程があったためコース試走を丹念におこないましたが、それは他の選手も同じ条件であり身体も暑さに慣れてきたようで、昨年以上のハイスピードなレース展開で全く歯が立ちませんでした。こちらでも昨年以上のタイムで走っておりましたが、完走目のマイナス 1 ラップの 32 位で終わりました。



© masakazu abe

思いつくだけの準備を日本でしておりましたが、まだまだ足りなかったようです。それは機材や装備でなく、何よりも走力とスキルが足りていませんでした。逆に言えば機材や装備で十分にご協力をいただき、事前にテストや工夫して準備できたので、自分の走力やスキルの足りない部分をカバー出来ていたように思います。改めてこの場をお借りして RGJ チーム協賛各社・関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

これから中国を始めとする各国のシクロクロスレースに参戦を希望する選手のために、少ない私の経験ですが今後に活かせるように発信をしていきたいと思えます。そして、この貴重な経験を今後の日本国内のシクロクロスレースに反映できるように、引き続き活動をしていきますので、何卒シクロクロスにご声援のほどよろしくお願いいたします！

最後に主催の Yanxing Song さん、そして地元レーススタッフの皆様、同行してくれた 2017 中国シクロクロス UCI レース遠征チームの選手・スタッフの皆様に深く感謝いたします。日中友好の輪をシクロクロスから世界へ！！



© masakazu abe/鹅光学

今回のレースのレポートにつきましては、下記にも掲載されております。ぜひご覧くださいませ。

<RGJ 須藤の個人ブログ> ※自転車トレーニングサイト「じてトレ」にも掲載いただきました！

・2017-09-03

中国北京 UCI シクロクロスレース・Changxindian Station/UCI Class-1

<http://rockmutsumi.hatenablog.com/entry/2017/09/03/235604>

・2017-09-06

中国北京シクロクロスレース・Yanqing Station/UCI Class-1

<http://rockmutsumi.hatenablog.com/entry/2017/09/06/000000>

<自転車関連 WEB 掲載>

*AJOC から「2017 中国シクロクロス (CX) UCI レース遠征」メンバーなど詳細の公式発表。

<http://www.cyclocross.jp/news/2017/08/2017-qiansen-trophy.html>

*シクロワイアード：第1 レースレポート

千森杯 2017 第1 ステージ

5 回目の中国シクロクロスレースが開幕 初戦で竹之内悠と唐見実世子が UCI ポイント獲得

<http://www.cyclo wired.jp/news/node/243058>

*シクロワイアード：第2 レースレポート

千森杯 2017 第2 ステージ

中国のシクロクロスレース第2 戦で竹之内悠が4 位 唐見実世子も UCI ポイントを獲得

<http://www.cyclo wired.jp/news/node/243592>

<使用装備>

フレーム：BOMA シクロクロスバイク・エピス、エピス R (ともに S サイズ)

※エピスが F ギア 42×34 エピス R が 46×36、R ギアはともに 12-30

タイヤ：IRC チューブレス シラク・シラク MAD

ヘルメット：株式会社オージーケーカブト・ゼナード (カラー：レッド・S/M サイズ)

グローブ：株式会社オージーケーカブト PRG-2

ソックス：武田レグウェア株式会社 R×L ソックス・TBK750R (5 本指仕様ソックス)

ボトル・ボトルゲージ：株式会社オージーケーカブト

スキンケア：株式会社アミックグループ・AthleteX (アスリート X)

サプリメント・補給食：株式会社 隼・アスリチューン

ウェア：チャンピオンシステム (レースウェアのほか、アフターレースウェア含め)

輸行用品：コーワ株式会社・BTB 輸行箱 PRO シリーズ 203、ホイール保護カバー

サイクルメーター：キャットアイ・ステルス 50

度付きサングラス調整：オードビー

シューズ：SHIMANO ※ペダル：TIME アタック

